

## ESG投資における取組みについて ～国内企業の成長支援に資する「MSD第二号投資事業有限責任組合」への出資～

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、MSD企業投資株式会社（代表取締役社長 安田 浩）が組成した「MSD第二号投資事業有限責任組合」に対する出資契約を締結しましたので、お知らせいたします。

本ファンドは日本国内企業を対象に、事業承継問題や国内外市場の競争激化等、厳しい経済環境や多様な経営課題を抱える企業に対し、自立・永続の実現に向けた成長支援を行うことを目指しております。

また、ESGポリシーを定め、投資先選定においてESGの観点を考慮するほか、投資先企業のESG課題への改善取組みの進捗をモニタリングし、ESG課題の継続的管理および改善に関する支援を実施する予定です。本ファンドの取組みは日本企業のESG課題への取組み促進に貢献するものと考えております。

当行は「秋田銀行グループ サステナビリティ経営方針」において、「地域経済の質的向上」を重要課題の1つとして掲げております。今後も企業の課題解決と成長支援を通じ、地域と当行の価値共創および持続可能な地域社会の実現に取り組んでまいります。

### 1 本ファンドの概要

名称	MSD第二号投資事業有限責任組合
運営会社	MSD企業投資株式会社 <sup>(注)</sup>
設立日	2021年10月27日
存続期間	10年間

(注) MSD企業投資株式会社は、三井物産株式会社、株式会社三井住友銀行および株式会社日本政策投資銀行の3社が共同出資する投資事業会社です。

### 2 ESG投資への取組み

当行は、環境課題や社会課題の解決ならびに持続可能な社会の実現に資するESG投資を積極的に行っております。

<これまでの取組み>

2021年 8月～[環境負荷低減に資する船舶投資ファンドへの出資](#)

2021年12月～[カーボンニュートラルファンド1号投資事業有限責任組合への出資](#)

2022年 3月～本出資

(以上)



8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう

#### SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題17目標と目標を達成するための169のターゲットが示されています。